

教科:理科、体育 単元名:わたしたちの体と運動

学年:4年

タイトル

# 骨や筋肉のしくみを知ろう

10のキーワード

- ・正式な依頼
- ・志をともにする
- ・リソースとリミッター

## 問いストーリー (単元の概要・児童への願い)

<教師のねらい>学習指導要領の中で「人の体のつくりと運動について追究する中で、主体的に問題解決しようとする態度を養う。」とあるので、体のつくりと運動について学習した後、新体カテストの記録を向上させるという活動を通じた主体的な活動ができるよう指導する。

<主体的に取り組む児童の姿>「〇〇の種目において、もっと記録を向上させるにはどのように筋肉を働かせればよいだろうか。」という問いを立てる。その後、実際に今の記録を測り、自分の姿を動画で撮って客観的に見ることでフォームの確認などを行う。自分の姿と見本となる姿を見比べるなどの活動を通して、正しい筋肉や体の使い方を学び、骨や筋肉について学ぶ。

## 単元計画

授業概要	
1~3	腕相撲などを通して筋肉や骨について気づいたことを話し合う。今の自分の記録を知り、記録向上に向けた目標を立てる。それぞれの「問い」を立てる。
4~7	休み時間などに土っ子新体カテスト教室を開いてほしい。(本気の依頼)それぞれのグループに分かれて(志をともに)調べ学習をする。どの筋肉をどのように使うか調べたり、正しい姿勢や記録向上のためのトレーニング方法を調べたりしてスライドにまとめる。リソースとリミッター「図書室、Sagasokka、松尾Tなど」  ※握力グループ、立ち幅跳びグループ、50mグループ、上体起こしグループ
8	中間発表(情報共有)  自分たちが考えたり調べたりしたトレーニングを学級児童に伝える。その後、土っ子新体カテスト教室で実践する。
9 ~ 10	新体カテストに向けて、トレーニングする。土っ子体カテスト教室の分担や伝え方の練習をする。
11	ふりかえりの会(本時) ジャムボードに学習して感じたことをたくさん出す。学習したことをどのように生かすことができるか「くまでチャート」を使って考える。  習い事のスポーツや普段のドッジボールなどで、体を動かすためには正しい動かし方があることを知り、上達するためにはどうすればよいかを考えることができた。

